

令和5（2023）年度 審判員への指導体制の確立へ向けて

（公財）日本ハンドボール協会
競技・審判本部

日本国内における審判員への指導及び助言について、その体制を確立したい。
指導・助言体制に関し、（公財）日本ハンドボール協会競技・審判本部では、その担当を担う者について下記の役割を位置づけている。

- ◆インストラクター （主に 研修会での講師にあたる）
- ◆アセッサー （主に 大会における審判員への指導・助言及び評価にあたる）

1. 審判員への指導を行う者

- 審判本部合同委員会メンバー及びサポートスタッフ（審判本部組織図参照）
- 都道府県（支部）審判長
- 各ブロックの審判長（ブロック、都道府県）
- 各大会審判長・副審判長
- 各大会マッチオフィシャル（MO）
- 公認審判指導者

審判指導を行う上記の者については必ず公認審判指導者の資格を有し、登録していなければならない。

2. 指導の実際

- 「レフェリー指導ハンドブック2023」
 - 「2022－2023競技ハンドブック」
 - 「レフェリーハンドブック2023－2024」
- 上記資料に基づき指導及び評価にあたる。

3. 指導のための教材及び資料

- | | |
|--------------------------|----------------------|
| ○「レフェリーハンドブック 2023-2024」 | ○「2022－2023競技ハンドブック」 |
| ○競技規則及び通達 | |
| ○年度目標 | ○各級公認審判員の目標 |
| ○全日本大会担当審判員候補者研修会資料 | ○チェックリスト |
| | ○競技規則問題集 |
- 上記資料を使用し指導及び講習会にあたる。

4. 指導場面

- 1) 社会人選手権大会、全国小学生大会、全国高校総体、全国中学校大会、全日本学生選手権大会、日本選手権大会男子の部 以上 6 大会

上記大会の審判指導員は審判指導委員会と各連盟審判長で選定（2泊3日の予算）
日程の延長と審判指導員の補充が必要な場合は各連盟中心に対応

- 2) 各都道府県・連盟における各種大会の研修会及び審判員の指導
(審判員の目標、各級公認審判員の目標、全日本大会担当審判員候補者研修会資料 など)
 - ・プレゼンテーション指導（大会中や各日の目標、目標に対しての評価 など）
 - ・ゲーム観察、分析、評価、指導（各級公認審判員の目標とチェックシートを活用）
- 3) 評価票に記入する。〔(1) の 6 大会については報告書も作成。〕

参考：

- 審判員の条件
- ・人間性
 - ・競技規則の理解と運用
 - ・技術（判定の能力、ポジショニング）
 - ・アスリートとしての体力（フィジカル）

これらの観点から指導を行うことが大切である。

目標

「学ぶことを止めたなら、

教えることを辞めなければならない」